

議会報告会報告書

開催日時	平成26年8月21日（木）午後7時 終了：午後8時30分	
開催場所	鶴来公民館 2階 学習室	
対象団体	鶴来地区町会長協議会	
参加人数	19人	
班構成	B班	安実 隆直、小川 義昭、村本 一則、吉田 郁夫、清水 芳文、藤田 政樹、西川 寿夫
役割分担	リーダー：藤田 政樹、司会：吉田 郁夫 報告：平成26年度当初予算－村本 一則、定例会会議の概要－小川 義昭 総務－西川 寿夫、文福－清水 芳文、産建－安実 隆直 記録－安実 隆直	
報告内容	■平成26年度当初予算 ■定例会会議	
(質疑応答)		
<p>(質問1) 合併10周年記念事業は「鶴来も合併してよかった」と思えるような形にしてほしい。市史発刊、第九公演などどんな意味があるのか。市民が10周年と実感できるのか。狙いと効果がわかることをしてほしい。予算を組み執行するだけでなく中身をチェックしてほしい。松任地域だけではなく鶴来地域も盛り上げてほしい。</p> <p>(答 弁) 2月1日に10周年の節目の式典を行う。第九公演は節目に音楽会をしてみんなで10周年を鼓舞しようという目的だと思う。先日、10周年記念事業として子ども議会を開催した。2月1日だけではなく、年間を通じて10周年記念事業を行い、一体感の醸成を皆さんに感じていただきたい。10周年記念事業は町内会長などの意見を聞いて企画していく姿勢が足りなかった。</p> <p>(質問2) 広島県でも土砂崩れがあり人ごとではない。白山市の鶴来地域、山間部でも起こり得る。異常気象が当たり前になり石川県もいつ来るかわからない。議員としてこの状況を見てどう考え、どう対応していくつもりか聞かせてほしい。</p> <p>(答 弁) 通年議会では議会がすぐ対応できる。東二口の崩落事故は相当大きな問題として受けとめている。東二口だけではなく、市で災害の危険区域を各戸に示した。危機管理を持っていかなければいけない。157号については県が国交省から請負って鶴来地域、白山ろく地域を管理しているが、市も介入した中で管理を徹底するよう議会として要望している。</p> <p>(質問3) ハコモノはどんどん作るが内容の管理が十分ではない。相木住宅の住人は草木、樹木の管理をしてくれないと言っている。指定管理者はいるがシルバー人材センターは人が少なくて手が回らない。ドアはさびてボロボロである。今道の駅を作っても5年、10年後は放ったらかしになるのではないか。作った後の管理対策をしっかりと助言していただき、住民が住みよい、住んでよかったと思えるまちになるよう今後期待する。</p> <p>(答 弁) 意見として受けとめさせていただく。</p>		

(質問4) 白山駅を作るための費用は幾らか。費用対効果はどう見ているのか。コンサルタントの試算と実際とは違うことがある。管理費用でお金がどんどん出ていくことのないよう委員会等でもっと精査をしてほしい。

(答 弁) 6,700人の方が利用され、物品購入や宿泊などしていただく中で経済波及効果は推計で年間26億円という報告があった。華美な駅は作らない。通常50億から60億円かかるが、認可駅であれば白山市の持ち出しは1億円で済むので、将来の子どもたちのために認めた。私たちは白山駅を利用できないと思うが、将来の子どもたちの利便性と回りの発展を考えたときに、駅はあったほうがよい。岐阜羽島駅は田んぼの真ん中にあったが、現在は住宅と企業で発展している。新幹線の鈍行しかとまらないが、駅がないと経済は発展しない。1億円ならよいのではないかということで600万円の建設期成同盟会負担金を認めた。行政側が提示したものに対してはきちんと議会でチェックしていく。

(質問5) 野球場は縮小しながら硬式の野球ができるものを作ると聞いている。合併特例債16億円というのはかなり大きな金額である。今現在使用頻度はどれだけあるのか。これから青少年の育成に対して、また野球の普及に対してどのように効果を求めていくのか。もっと具体的に市民が使える開かれた野球場にするべき。白山郷野球場の費用も調べ市民に示すべき。当初計画ではどれだけの費用だったのか。

(答 弁) 野球場はほとんど土・日曜日に使用され平日はほとんど使われていない。中学や高校の野球大会は平日でも行われるが、少年野球やいろんな野球大会が土・日曜日に重なり、野球場が空いていない状態が続いているという報告を受けている。使用頻度は非常にあると考え相木野球場の代替として認めた。当初計画に金額は提示されていない。防災拠点とすることで国から予算もあり一般財源が減った。緊急輸送道路、高速道路インターチェンジに近いということから駐車場を利用したヘリポートができ、また交通安全教室を開くこともできる。ソフトボールもでき幅広く使うことができる。

(質問6) 最終処分場建設費用36億円の内、24億円が白山市、12億円が野々市市負担というが、今現在、白山市と野々市市が持ち込んでいるごみの量は調べてあるのか。建設費用の根拠は何か。

(答 弁) 建設費用に関しては恐らく白山市と野々市市の人口比率などで決められたと思うが、詳しく調べて報告する。現在の管理費は毎月のごみの量に応じて処分場の使用料を払っている。

(質問7) 町内会長協議会で毎年、地区要望を行政に提出している。我々の要望を精査していただくためにも議会にも見ていただきたい。昨年8月21日、1時間に71ミリのゲリラ豪雨があり、清沢町では冠水して13戸が床下浸水し、旧朝日小学校のグラウンドが全部水に浸かり大変な被害があった。緊急にどうしても早くしてほしいものを何度要望しても、回答は「県に要望している、今後考えておきます。」という内容である。しかし、広島県で事故があり日本全国どこで災害が起きるかわからない。要望を出しているが、もしここでゲリラ豪雨が起き増水で死亡事故が起きた場合、天災か人災かどうなるのか。精査して各地区の緊急要望に対して財源をどうするかなどの知恵を出すのが議会だと思っている。

(答 弁) 東二口地内の事故について県は天災と言うが白山市議会は人災と指摘した。雨が降っていないときに起きた事故であり、しかも3年前にも横で崩落事故があった。コンクリートで吹きつけをしてあるが下の地層まで水が通っているのがらんどである。それらがわかっていて予算がないからできなかったでは済まされない。21時15分に誰かが通っていたら生き埋めになって大変なことになっていた。市議会は強く県に対して申し入れをしているし、市としても対応していく。要望書等があれば議会にも出していただければ協議させていただきます。

備 考	
-----	--